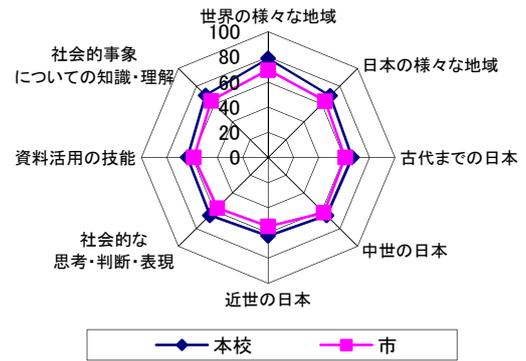


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	世界の様々な地域	78.8	69.4
	日本の様々な地域	69.3	63.4
	古代までの日本	66.3	60.8
	中世の日本	65.2	62.1
	近世の日本	62.5	54.9
観点別	社会的な思考・判断・表現	65.1	56.9
	資料活用・技能	63.6	58.7
	社会的な事象についての知識・理解	69.9	63.7



★指導の工夫と改善

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	世界の様々な地域	・全市平均値に比べて優位に高い正答率をあげている。特に大問3のEUIに関する問題では、全市平均値を10ポイント以上上回り、70～85%の正答率をあげた。	・これまで、社会的思考・判断力や資料活用・表現の技能を向上させることを意識して、授業中の資料提示の方法や発問、定期テストの作問を工夫してきた。その成果なのか、思考・判断に関する5問中4問が全市平均値を10ポイント以上上回った。しかし、資料活用・表現技能に関する3問は最高でも全市平均値を5.2ポイント上回るにとどまり、まだ不十分であると思われる。今後は、授業中の資料の読み取りに重点をおいて指導していきたい。
	日本の様々な地域	・思考・判断を問う大問2(3)や大問4(3)の正答率は60%台前半であるが、全市平均値を10ポイント以上上回り、優位であった。他の知識・理解や資料活用・表現・技能に関する問題も全市平均値を上回っているが、大問4(4)の複数の資料から多角的に読み取る問題では、全市平均値を0.3ポイントしか上回れず、正答率も54.3%とそう高くなかった。	
歴史	古代までの日本	・大問5(3)の知識・理解の問題の正答率が全市平均値を12.9ポイント上回ったのを最高に、思考・判断の問題でも8.0ポイント全市平均値を上回った。しかし、写真資料から法隆寺を答える5(4)の問題では全市平均値を3.5ポイント下回った。	・歴史的分野において、知識・理解や社会的思考・判断力に関する問題は、全市平均値を上回る高い正答率を上げた。このことは、基礎・基本を丁寧に押さえた授業展開や定期テストでの作問の工夫が反映しているものと思われる。しかし、写真資料を使った各時代の文化に関する問題での正答率が低く、全市平均値を下回る傾向も見られた。今後は、各時代の文化を取扱う題材で、教科書や資料集の写真資料を時間をかけて丁寧に読み取らせ、その時代の文化の特色や人々の価値観を深くとらえさせるように指導していきたい。
	中世の日本	・大問6(5)の武士の館のつくりに関する思考・判断力を見る問題の正答率が全市平均を14.1ポイント上回った。他の知識・理解に関する問題も1.4～4.2ポイント全市平均を上回ったが、写真資料から室町文化に関するものを答える大問6(4)の問題では、全市平均を6.3ポイント下回り、正答率も40.9%と大問6の中で最低だった。	
	近世の日本	・大問7(2)の江戸時代「天下の台所」と呼ばれた都市の位置を地図上の4都市から選択する知識・理解に関する問題は、正答率が88.0%と最も高く、全市平均を18.3ポイント上回った。その他の問題も全市平均を上回ったが、大問7(1)③の信長の宗教政策に関する思考・判断の問題は、正答率が27.2%と極端に低かった。	